

1. 事業報告書 【旧連合会】

事業報告書

平成25年度（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）

(1) 農作物共済関係

区分		項目	組合数	組合員数	引受面積	引受収量 (基準生産金額)	共済金額
水 稲	一 筆		3	人 27,420	a 2,179,598	kg 74,426,361	円 14,220,301,003
	半相殺		3	131	27,225	1,178,962	225,749,074
	全相殺		3	14	16,712	714,301	137,807,228
	品質		2	30	33,379	円 (300,313,113)	259,642,152
	計		3	27,595	2,256,914		14,843,499,457
麦	26年産	一 筆	2	26	5,599	kg 80,053	12,312,153
		災害収入	3	216	136,678	円 (435,649,950)	430,208,817
		計	3	242	142,277		442,520,970
	25年産	一 筆	1	20	5,073	kg 68,953	10,681,935
		災害収入	3	202	121,893	円 (389,906,833)	384,617,273
		計	3	222	126,966		395,299,208

区分		項目	保険金額	通常歩合保険金額	徴収保険料	交 付 金 (納入再保険料)	手持保険料
水 稲	一 筆		円 14,028,369,638	円 66,719,935	円 41,120,252	円 68,250 (17,278,761)	円 23,909,741
	半相殺		219,799,652	1,994,405	2,734,966	2,358 (1,796,179)	941,145
	全相殺		135,056,879	925,024	665,716	9,136 (278,274)	396,578
	品質		251,909,782	2,577,455	2,154,438	40 (1,052,967)	1,101,511
	計		14,635,135,951	72,216,819	46,675,372	79,784 (20,406,181)	26,348,975
麦	26年産	一 筆	11,940,954	158,970	150,667	(48,589)	102,078
		災害収入	392,060,396	12,767,635	56,611	12,102,665	12,159,276
		計	404,001,350	12,926,605	207,278	12,054,076	12,261,354
	25年産	一 筆	10,360,408	137,796	130,927	(42,495)	88,432
		災害収入	350,358,771	11,445,222	32,006	10,897,678	10,929,684
計	360,719,179	11,583,018	162,933	10,855,183	11,018,116		

注記 引受変更により25年産麦の手持保険料が変更となった。（11,034,067円→11,018,116円）

引受の状況

① 水 稲 の 部

廃業や法人化等に伴い引受戸数は前年より1,244戸（前年比95.7%）、引受面積37ha（前年比99.8%）減少した。

② 麦 の 部

経営所得安定対策の効果に伴い新規作付や規模拡大により、引受戸数は前年より20戸（前年比109.0%）引受面積153ha（前年比112.1%）増加した。

(被 害)

区分	項目	被害組合数	被害組合員数	共済減収量	共 済 金	保 険 金	共済金
				(生産金額の減少額)			共済金額
水 稻	一 筆	3	人 2,242	kg 986,503	円 188,218,561	円 48,447,232	% 1.3
	半相殺	1	7	7,664	1,479,152	369,788	0.7
	全相殺	3	5	16,943	3,252,886	2,171,838	2.4
	品 質	1	5	円 (276,624)	276,624	69,155	0.1
	計	3	2,259		193,227,223	51,058,013	1.3
麦	一 筆	1	4	kg 426	68,430	20,529	0.6
	災害収入	3	68	円 (21,225,699)	20,560,118	5,151,744	5.3
	計	3	72		20,628,548	5,172,273	5.2

被害の状況

① 水 稻 の 部

移植期及び梅雨明け以降の寡雨により干害が発生した。7月28日の集中豪雨により山口県中部（阿東、阿武荻管内）で土砂流入、流失及び冠水被害が発生した。8月下旬から9月上旬にかけての長雨によりコシヒカリが県下全域で倒伏した。県下全域の中山間地で猪による獣害が発生した。9月下旬より瀬戸内沿岸地域を中心にウンカ被害が発生した。一筆方式5割補償、全相殺方式9割補償で異常災害となった。

② 麦 の 部

播種期から生育期にかけて降水量が多く、一部ほ場で発芽不能や生育不良が発生したが、被害は僅少であり通常災害となった。

(支 払)

区分	項目	支払月日	支払保険金	保 険 金 支 払 財 源				
				再保険金	手持保険料 充当額	法定積立金 充当額	特別積立金 充当額	その他
水 稻	一 筆	12月24日	円 48,447,232	円 57,905	円 26,348,975	円 17,644,970	円 5,845,843	
	半相殺		369,788	0				
	全相殺		2,171,838	1,160,320				
	品 質		50,988,858	0				
	計		51,058,013	1,218,225	26,348,975	17,644,970	0	5,845,843
麦	一 筆	8月28日	20,529	0	5,172,273			
	災害収入	11月28日 12月24日	5,151,744	0				
	計		5,172,273	0	5,172,273	0	0	0

(2) 家畜共済関係

(引 受)

項目 区分	有資格 頭数	事業計画 頭数	引受頭数	引受頭数	共済金額	保 険 金 額	再保険金額
				事業計画頭数			
乳用牛等 (うち胎児)	頭 6,282	頭 3,900	頭 3,923	%	千円	円	円
	(2,994)	(700)	(737)	101	383,408	306,726,400	191,704,000
肉用牛等 (うち胎児)	21,460	18,330	20,233				
	(4,986)	(4,790)	(5,176)	110	2,639,708	2,111,766,400	1,319,854,000
馬	28	3	4	133	940	752,000	470,000
種 豚	1,864	1,360	1,289	95	74,508	59,606,400	37,254,000
肉 豚	19,800	5,100	9,508	186	68,458	54,766,400	34,229,000
計	49,434 (7,980)	28,693 (5,490)	34,957 (5,913)	122	3,167,022	2,533,617,600	1,583,511,000

項目 区分	徴収保険料	組合等交付金	納入再保険料	交 付 金	手持保険料	技術料
	円	円	円	円	円	円
乳用牛等 胎 児	1,443,755	283,451	-	13,185,864	14,346,168	12,151,476
肉用牛等 胎 児	5,422,568	75,881	2	18,450,139	23,796,824	20,638,715
馬	-	-	-	3,332	3,332	6,674
種 豚	25,779	-	6,779	-	19,000	-
肉 豚	23,685	-	6,230	-	17,455	-
計	6,915,787	359,332	13,011	31,639,335	38,182,779	32,796,865

引 受 の 状 況

頭数については、肉用牛および肉豚で引受が伸びたため、全体として引受頭数が増加した。
共済金額では、肉用牛の引受が増加した関係で、全体として共済金額が増加した。

(事 故)

項目 区分	死 廃 事 故				病 傷 事 故	
	死亡頭数	廃用頭数	総 頭 数	支払保険金	件 数	支 払 保 険 金
乳用牛等 (うち胎児)	239 (50)	78	317	23,604,653	2,368	10,541,058
肉用牛等 (うち胎児)	451 (230)	65	516	40,369,572	7,582	19,971,478
馬	-	-	-	-	-	-
種 豚	4	-	4	234,723	-	-
肉 豚	-		-	-		
計	694	143	837	64,208,948	9,950	30,512,536

事 故 の 状 況

死廃事故は、対前年度頭数107頭減、支払保険金1,357千円減となった。

一方、病傷事故では、対前年度件数832件増、支払保険金1,389千円増となった。

(損 害 防 止)

実施種目		対象頭数又は回数	経費概算	摘 要
特定損害防止		300	1,310	繁殖障害、周産期疾患、乳房炎、寄生虫性腸炎
一 般 損 害 防 止	健康検査	18,001	6,125	一般健康検査、繁殖検診、多頭農家の巡回検診 ボバクチン、ビタミン剤、ワクチン、抗生物質等による予防措置 巡回時における飼養管理指導 畜産研修会、講習会等の開催
	予防衛生措置			
	飼養管理指導			
	講習会			

特定損害防止事業については、事故の多発農家を選定し、乳用牛では繁殖障害、周産期疾患および乳房炎について実施し、肉用牛では繁殖障害と寄生虫性腸炎について実施した。

一般損害防止では、家畜保健衛生所の繁殖検診に同行し農家を巡回指導したほか、各種予防接種および家畜の導入時に抗生剤等の投与を実施した。

(臨床検査室実績)

項目 区分	血液検査	細菌検査	乳汁検査	ビタミン測定	糞便検査	計
	検査件数	件 113	件 0	件 0	件 0	
経費概算	円 111,860	円 0	円 0	円 0	円 0	円 111,860

(家畜診療所)

診療所名	職員数	管内		診療件数		損害防止事業			摘要
		有資格 頭数	加入頭数	共済事故	事故外	一般	特損	経費概算	
東部地区	人 3	頭 19,391	頭 15,588	件 995	件 876	頭 2,206	頭 63	円 2,982,600	
中部地区	3	4,781	3,781	692	793	2,052	56	1,097,256	
阿東地区	3	1,873	1,950	1,174	2,243	350	97	1,294,850	
北部地区	3	5,673	4,634	1,574	2,108	1,336	84	401,090	

(3) 果樹共済関係

(引 受)

年産	項目 果樹共済 再保険区分	組 合 数	組 員 数	引 受 積 面	標準収穫量	共済金額	保険金額	徴 収 保 険 料	交付金 又は納入 再保険料	手 持 保 険 料
					(基準生産金額)					
26	うんしゅうみかん 減収総合	3	100	2,572	a kg 274,842	円 13,949,000	円 13,561,820	円 321,140	円 △ 115,748	円 205,392
25	うんしゅうみかん 特定危険	1	49	2,030	357,424	16,245,000	15,513,325	87,723	0	87,723
27	なつみかん 減収総合	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26	な 災 害 収 入	1	23	1,581	円 (121,817,325)	97,444,000	94,898,761	2,116,487	136,418	2,252,905
計		3	172	6,183		127,638,000	123,973,906	2,525,350	20,670	2,546,020
25	うんしゅうみかん 減収総合	3	108	2,830	324,574	15,046,000	14,613,059	410,144	△ 122,380	287,764
	なつみかん 減収総合	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	な 災 害 収 入	1	21	1,595	円 (119,895,183)	95,905,000	93,348,172	2,025,513	613,792	2,639,305

引 受 の 状 況

① うんしゅうみかん (減収総合一般)

栽培農家の高齢化や廃園の増加により、前年に比べ引受戸数12戸、引受面積2.6ha、共済金額1,097千円の減となった。

② うんしゅうみかん (特定危険減収暴風雨)

栽培農家の高齢化や廃園の増加により、前年に比べ引受戸数3戸、引受面積88a、共済金額1,258千円の減となった。

③ なつみかん (減収総合一般)

引受なし

④ な し (災害収入共済)

新規引受戸数2戸であるが、引受面積は14a減となった。階級別平均単価の増加に伴い共済金額は1,539千円増加した。

(被 害)

区分	項目	被害組合数	被害組合員数	認定減収量	共 済 金	保 険 金	共済金
				生産金額の減少額			共済金額
うんしゅうみかん 減 収 総 合		1	人 1	kg 1,862	円 32,110	円 25,688	% 0.2
うんしゅうみかん 特 定 危 険		0	0	0	0	0	0.0
なつみかん 減 収 総 合		0	0	0	0	0	0.0
な 災 害 収 入		1	2	(1,779,622)	1,779,356	1,423,484	1.9
計		2	3		1,811,466	1,449,172	1.6

被 害 の 状 況

① うんしゅうみかん (減収総合一般)

梅雨明け以降の寡照や高温により、日焼け果、小玉果となり収穫量が減少した。
被害は僅少で通常災害となった。

② うんしゅうみかん (特定危険減収暴風雨)

被害なし

③ なつみかん (減収総合一般)

引受なし

④ な し (災害収入共済)

4月上旬・下旬の降霜により授精不良や子房が損傷し、傷果・奇形果発生の要因となり収穫量、
生産金額とも減少した。また、一部の園地では黒斑病が発生し減収したが通常災害となった。

(支 払)

区分	項目	支払月日	実 支 払 保 険 金	保 険 金 支 払 財 源				実 支 払 保 険 金	
				保 険	手持保険料 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額		その他
うんしゅうみかん 減 収 総 合		3月11日	円 25,688	円 0	円 25,688	円 0	円 0	円 0	% 100.0
うんしゅうみかん 特 定 危 険		-	0	0	0	0	0	0	0.0
なつみかん 減 収 総 合		-	0	0	0	0	0	0	0.0
な 災 害 収 入		12月25日	1,423,484	0	1,423,484	0	0	0	100.0
計			1,449,172	0	1,449,172	0	0	0	100.0

(4) 畑作物共済関係
(引 受)

年産	畑作物共済再保険区分		組合数	組合員数	引受面積	引受収量	共済金額	保険金額	徴収保険料	交付金 又は 納入 再保険料	手持 保険料
	区分	共済目的				(基準生産金額)					
25	第1区分	大豆	3	人 188	a 60,862.3	kg 726,125	円 189,213,994	円 170,292,594	円 13,959,839	円 3,170,414	円 17,130,253
26	第2区分	茶	1	8	1,325.2	円 (8,564,032)	4,569,000	4,112,100	110,344	▲ 18,028	92,316
計			3	延実 196 196	62,187.5		193,782,994	174,404,694	14,070,183	3,152,386	17,222,569
25	第2区分	茶	1	9	1,414.2	円 (9,000,480)	4,935,000	4,441,500	101,912	16,676	118,588

引受の状況

① 大豆

経営所得安定対策に伴い新規作付、規模拡大や法人組織の設立により、引受面積3ha、共済金額2,938千円の増となった。

② 茶

1農家の引受減により、引受面積は89 a の減となり、共済金額も366千円減少した。

(被害)

畑作物共済再保険区分		被害組合数	被害組合員数	共済減収量	共済金	保険金	共済金
区分	共済目的			(共済減収金額)			共済金額
第1区分	大豆		人	kg	円	円	%
平成26年度認定のため表記なし(4月16日支払。保険金29,906,581円)							
第2区分	茶	1	1	円 128,952	64,381	57,942	1.3
計		延実 1 1	延実 1 1		64,381	57,942	0.03

被害の状況

① 大豆

播種・成育期の降雨により一部のは場で土壌が湿潤状態となり発芽不良・生育不良が発生。また、7月28日には県北部を襲った集中豪雨により土砂流入や冠水し、落花・落莢を伴い生育不良となった。

開花期・子実肥大期の高温・寡雨により子実肥大不良等が発生。

成熟期にはハスモンヨトウ、カメムシの発生により品質低下をまねき異常災害となった。

② 茶

4月上旬・中旬の2度の降霜により被害が発生した。

その後は樹勢も徐々に回復したが、一部で不揃いな萌芽や萌芽の遅れによる減収及び品質低下がみられたものの通常災害となった。

(支払)

畑作物共済再保険区分		支払月日	実支払 保険金	保険金支払財源					実支払 保険金
				再保険金	手持保険料 充当額	法定積立金 充当額	特別積立金 充当額	その他	
第1区分	大豆		円	円	円	円	円	%	
平成26年度認定のため表記なし(4月16日支払。保険金29,906,581円)									
第2区分	茶	8月28日	57,942	0	57,942	0	0	0	100.0
計			57,942	0	57,942	0	0	0	100.0

(5) 園芸施設共済関係

(引 受)

施設区分	項目	組合数	組合員数	引受棟数	設置面積	共済価額	共済金額	保険金額	徴収保険料	交付金又は納入再保険料	手持保険料
ガラス	I類	-	-	-	m ²	千円	千円	千円	円	円	円
	II類	3	8	16	6,176	31,408	25,119	22,607	30,062	25,317	55,379
プラスチック	I類	1	1	1	216	266	212	191	1,825	1,351	3,176
	II類	3	1,037	3,601	695,513	616,985	492,159	442,943	9,746,615	5,639,941	15,386,556
	III類	3	127	196	123,911	193,050	154,346	138,911	1,461,551	1,209,975	2,671,526
IV類	(甲)	3	71	109	51,372	83,011	66,363	59,727	737,964	658,081	1,396,045
	(乙)	3	33	50	32,046	109,042	87,208	78,487	242,455	214,680	457,135
	V類	3	4	5	1,243	3,680	2,941	2,647	7,822	7,996	15,818
	VI類	2	63	270	50,657	33,463	26,662	23,996	315,601	237,441	553,042
	計	3	1,344	4,248	961,134	1,070,905	855,010	769,509	12,543,895	7,994,782	20,538,677

引受の状況

高齢に伴う廃業や規模縮小、作付の減少等により対前年度棟数304棟の減、共済金額では58,926千円の減少となった。

(被 害)

施設区分	項目	被 害				損害の額	共済金	保 険 金	共 済 金 共済金額
		組合数	組合員数	棟数	附帯施設数				
ガラス	I類	-	-	-	-	円	円	円	%
	II類	0	0	0	0	0	0	0	0.0
プラスチック	I類	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	II類	3	88	141	0	5,917,184	4,719,151	4,247,177	1.0
	III類	3	13	21	0	3,447,900	2,757,685	2,481,908	1.8
IV類	(甲)	1	2	2	0	90,205	72,116	64,903	0.1
	(乙)	1	1	1	0	78,406	62,646	56,381	0.1
	V類	2	6	11	0	392,513	313,164	281,843	10.6
	VI類	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	計	3	110	176	0	9,926,208	7,924,762	7,132,212	0.9

被害の状況

主な共済事故は風害と、7月28日に県北部で発生した集中豪雨による水害により支払共済金1,928,319円(25棟)となった。一方、内作の事故は水害によるトマトの青枯病が主なもので支払共済金は3,048,531円(5棟)となった。

(支 払)

実支払保険金	保 険 金 支 払 財 源					実支払保険金 保 険 金
	再保険金	手持保険料 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	そ の 他	
円	円	円	円	円	円	%
7,132,212	511,428	6,620,784	0	0	0	100.0

(6) 任意共済関係

1 建物共済

(引 受)

(1) 農家建物

項目 区分	加入棟数	保 険 金 額 (共 済 金 額)	保 険 料 (共 済 掛 金)		1 棟 当 た り 平 均 保 険 (共 済) 金 額	再 共 済 掛 金	再 共 済 手 数 料 収 入
			純 保 険 料 (純 共 済 掛 金)	賦 課 金			
保 険 関 係	棟 54, 129	円 558, 492, 960, 000	円 309, 306, 838	円 38, 727, 755	円 10, 317, 814	円 160, 888, 417	円 67, 547, 833

注 総共済掛金額536,777,038円、再共済割合30.00%、再共済手数料割合42.00%

引受の状況

火災共済の共済金額は対前年度95.2% (252億円減)、総合共済の共済金額は95.5% (29億円減) となった。

(2) 団体建物

加 入 棟 数	共 済 金 額	共 済 掛 金		1 棟 当 た り 平 均 共 済 金 額
		純 共 済 掛 金	賦 課 金	
棟 13	円 235, 000, 000	円 121, 535	円 65, 315	円 18, 070, 000

(事 故)

(1) 農家建物

事 故 棟 数	加入総保険金額 (共済金額) (イ)	支払保険金(共済金) (ロ)		再 共 済 金	被害率 $\frac{(ロ)}{(イ)}$	備 考
		火 災	風水害等			
棟 229	円 558, 492, 960, 000	円 219, 384, 363	円 72, 473, 689	円 87, 557, 303	% 0.052	

事故の状況

火災共済では、失火による火災30棟 (うち全焼18棟) 及び落雷が主なもの。
また、総合共済では、失火による火災5棟 (うち全焼4棟) 及び風水害53棟が主なもの。

(2) 団体建物

事故なし。

(3) 建物共済原因別事故発生状況

イ 農家建物

事故の原因別	事故棟数	加入総保険金額 (共済金額) (イ)	支払保険金 (共済金) (ロ)	再共済金	被害率 $\frac{(ロ)}{(イ)}$	備考
	棟	円	円	円	%	
(火災共済)						
失火	30	495,597,830,000	213,415,196	64,024,541	0.044	
落雷	104		5,319,444	1,595,779		
外部からの物体の衝突	12		589,763	176,924		
盗難毀損	1		7,499	2,249		
給排水設備	1		52,461	15,738		
計	148	495,597,830,000	219,384,363	65,815,231		
(総合共済)						
失火	5	62,895,130,000	39,599,696	11,879,908	0.115	
落雷	17		1,331,211	399,356		
風水害	52		30,990,010	9,296,980		
その他	7		552,772	165,828		
計	81	62,895,130,000	72,473,689	21,742,072		
合計	229	558,492,960,000	291,858,052	87,557,303	0.052	

2 農機具共済

(引 受)

項目 区分	加入台数	保険金額 (共済金額)	保険料 (共済掛金)		1台当たり 平均保険金額 (共済金額)
			純保険料 (純共済掛金)	賦課金	
保険関係	台 8,451	円 12,599,100,000	円 45,579,013	円 4,779,195	万円 149

引受の状況

対前年度台数で192台増となり共済金額は77,302万円の増となった。また平均共済金額も6万円引上げられた。

(事 故)

事故台数	加入総保険金額 (共済金額) (イ)	支払保険金(共済金) (ロ)	被害率 $\frac{(ロ)}{(イ)}$	備考
台 477	円 12,599,100,000	円 51,842,854	% 0.438	

事故の状況

機種別にはコンバイン223台、トラクタ140台、田植機37台、その他77台で対前年度台数で110台、支払共済金で1,292万円の増となった。

事故の原因は、接触、異物の巻き込み、その他稼働中の事故が主なもの。

(7) 農機具更新共済関係

(引 受)

項目 区分	加入台数	保険金額 (共済金額)	減価共済金額	保険料(共済掛金)			
				純保険料(純共済掛金)		賦課金	計
				損害部分	減価部分		
保険関係	台 56	円 121,890,000	円 111,930,000	円 433,077	円 17,280,736	円 122,333	円 17,836,146

引受の状況

新規引受12台、1台当たり平均共済金額は、224万円となった。

(事 故)

事故台数	期間満了 台数	加入総保険金額 (共済金額) (イ)	支払保険金(共済金)		被害率 $\frac{(ロ)}{(イ)}$	備考
			火災・風水害等 (ロ)	期間満了による もの		
台 4	台 16	円 121,890,000	円 224,341	円 26,960,000	% 0.184	

事故・期間満了の状況

機種別では、コンバイン3台、トラクタ1台。16台が期間満了となった。